

週間漁海況情報—第2号

平成26年1月14日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/>で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

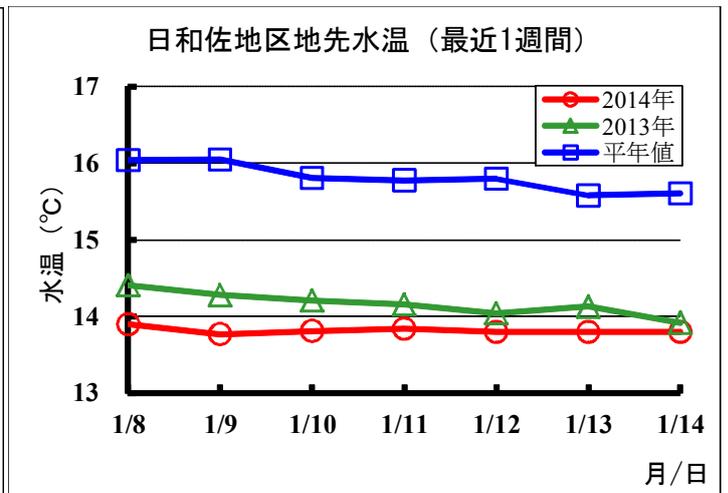
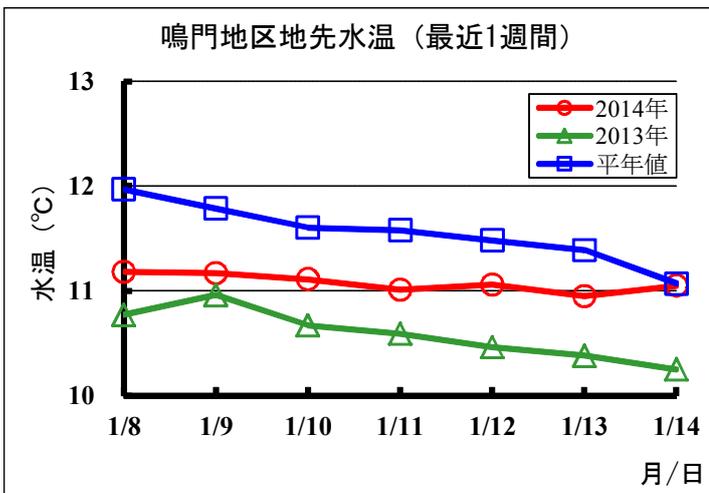
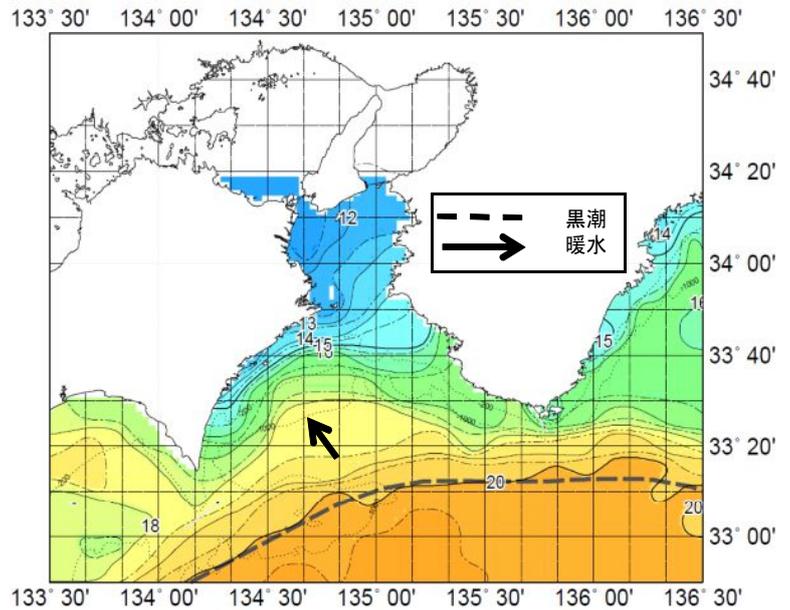
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.1.14）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10～11℃台、紀伊水道で11～13℃台、海部沿岸で12～18℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から海部沿岸に向けて緩やかな暖水流入が見られる。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並」の11.0～11.2℃、日和佐地区は「低め」の13.8～13.9℃、牟岐地区は「かなり低め」～「低め」の12.1～13.3℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値

鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアマダイが0.2トン（1日1隻あたり9kg）、大主体にキダイが0.3トン（同11kg）、カワハギが0.2トン（同47kg）、大主体にサバフグが0.5トン（同40kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが0.3トン（同16kg）、10～11cm主体のカタクチイワシが1.5トン（同57kg）、スルメイカが0.4トン（同14kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小小主体にマアジが1.1トン（同152kg）、中主体にアオリイカが0.2トン（同36kg）、中主体にスルメイカが1.1トン（同155kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年1月6日～2014年1月12日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	22	201	9	中主体
		キダイ	28	313	11	大主体
		カワハギ	5	236	47	
		サバフグ	12	477	40	大主体
小型定置網	海部沿岸	マアジ	19	308	16	小主体
		カタクチイワシ	27	1,548	57	10～11cm主体
		スルメイカ	30	418	14	
大型定置網	海部沿岸	マアジ	7	1,062	152	小小主体
		アオリイカ	7	250	36	中主体
		スルメイカ	7	1,086	155	中主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年1月7日～1月13日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にキダイが0.8トン、大主体にサバフグが0.9トン、カワハギが0.4トン、小型定置網で、カタクチイワシが0.5トン、アオリイカが0.6トン、大型定置網で、小小・マメ主体にマアジが0.4トン、小主体にゴマサバが1.1トン、中主体にアオリイカが0.2トン、中主体にスルメイカが1.0トン、釣りで、メジロが0.2トン、大主体にアオリイカが0.5トン、かごで、小主体にウツボ類が0.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「接岸」、潮岬沖において「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「平年並」の10℃台、日和佐地先で「低め」の13℃台で推移する見込み。

徳島県周辺海域での長期漁海況予報（2014年1月～6月）：黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖では、離岸傾向であるが、2月と4月に小蛇行の東進により一時的に離岸する見込み。

紀伊水道外域の沿岸水温は、「平年並」～「低め」で推移し、小蛇行の東進に伴い変動する見込み。